



組合理念
夢ある未来へ
人とともに、街とともに、大地とともに…
(組合が存在する意義、理由、目標を表わしたものです)

JAあつぎは、組合理念のもと、「農業を軸とする地域に根ざした協同組合」として、支所店を中心にさまざまな事業活動を展開しています。准組合員の皆さまにおかれましては、当JAの事業をご利用いただくとともに、各地区で展開する協同活動にご参加いただき感謝申し上げます。地域の農とくらしをともに支えるパートナーである准組合員の皆さまが当JAの事業を利用いただくことは、厚木市・清川村の農業の発展に役立っています。准組合員の皆さまに管内農業やJA事業に関する理解をさらに深めていただくための広報紙として「Green Page」をお届けします。

あなたの暑さ対策を教えてください！

～暑さに負けない農業・生活・地域を目指して～

近年、私たちの生活を脅かす要因の一つとして、「暑さ」を耳にするようになりました。気温の上昇は、脱水症状や熱中症、集中力の低下などの心身へのリスクをはじめ、農畜産物の生育不良や品質・収穫量の低下など、多くの影響をもたらしています。今回は、農業・食生活・住環境・備えの4点から暑さ対策について考え、互いに支え合いながらこれからの季節を乗り越えていきましょう。

私の暑さ対策 ウォーキングで暑熱順化！

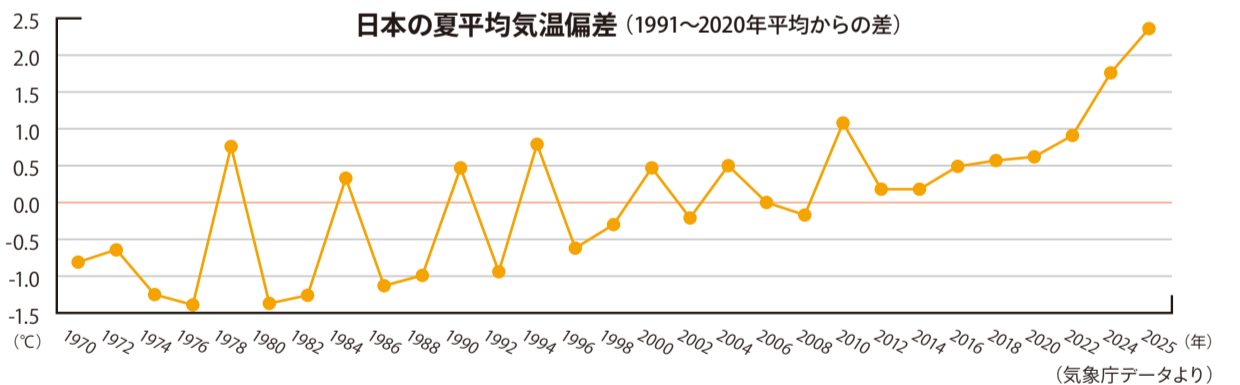
日本の夏は湿度も高く、発汗と蒸発による体温調節がしづらいことから、熱中症のリスクがより高まります。今回は、皆さんの暑さ対策を参考に夏を元気に過ごしていただくとともに、地球全体で起きている温暖化について、私たちにできることを一緒に考えていきましょう。



JAあつぎ 代表理事組合長
おおや かずと
大矢 和人

平均気温の推移

1970年から2025年における、6～8月の日本の平均気温の推移を見ると、90年代以降に高温となる年が頻出しており、直近の数年間では毎年少しずつ基準値(1991～2020年の30年における平均値)を上回る数字を記録しています。長期的に見ても上昇傾向であり、100年当たり1.38℃ほど上昇すると予想されています。



猛暑日? 酷暑日? 名称と日数の変化は

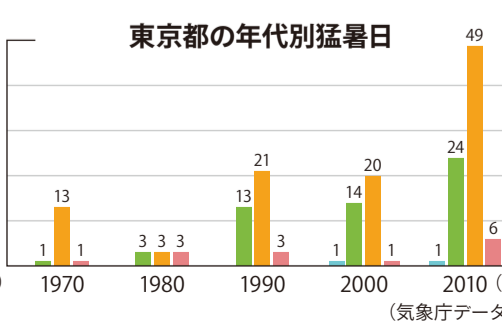
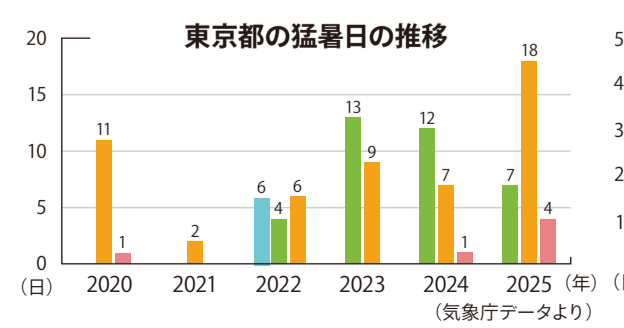
天気予報でもよく耳にする「〇〇日」。いずれも、気象庁が定義した暑さの程度を表す言葉で、右表のように気温によって使い分けられています。東京都では、2025年6～9月における猛暑日は29日。中でも、8月は18日と月の半分以上で観測されました。さらに、1970年から年代別に比べてみると、近年で急増していることが分かるほか、今年は、5月18日に大分県日田市ですでに年内初の猛暑日を記録しているなど、暑い日が続く期間が長くなっていることも分かります。

名称	定義(最高気温が)
夏日	25℃以上の日
真夏日	30℃以上の日
猛暑日	35℃以上の日
酷暑日	40℃以上の日

「温暖化」はなぜ起きているのか

気温上昇などの気候変動が発生する原因の一つが、地球全体の温暖化だとされています。温暖化の要因はさまざま、主に人間の活動によって発生する温室効果ガスの増加や、気温上昇を抑制する草地や森林などが都市化によって減少していることなどが考えられます。

温暖化がさらに深刻化すると、今以上の気温上昇で私たちの生活が脅かされるだけでなく、自然環境の崩壊や生態系の変化、農畜産物への影響など、さまざまなリスクが想定されます。

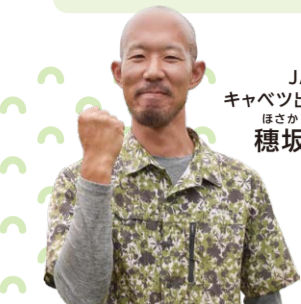


ページをめくって
みんなの暑さ対策を
知ろう！

JAあつぎマスコットキャラクター
ゆめみちゃん

私の暑さ対策

空調服の風で熱を発散!



JAあつぎ キャベツ出荷組合 組合長 穂坂 弘志さん

営農面や農作業での対策

暑さに強くない作物にはシルバーマルチを活用し、地温上昇の抑制や土の乾燥を予防するほか、反射光で害虫の飛来を防ぐなどの対策をしています。農作業では、早朝や夕方など、少し気温が下がる時間帯の使い方が重要。収穫、出荷、管理作業などを計画的に進めるため、栽培品目を厳選し、天気や気温の動きを把握することで、限られた時間の中で効率良く作業を進められるよう工夫しています。

試行錯誤を繰り返し暑さに負けない営農を

就農から9年目を迎え、現在はキャベツや葉ニンニクなど年間約12品目の露地野菜を生産し、夢末市や市内のスーパーに出荷しています。

暑さが与える農業への影響

近年の夏は、高温に加えて降雨日数が少なく、土の乾燥による生育の停滞や発芽不良が見られます。反対に、湿度が上がると病害の発生率も上がるため、その年の気象状況に合わせ、毎年試行錯誤を繰り返しながら品質の良い農産物の生産に努めています。



ズッキーニの生育を確認する穂坂さん

資材を活用し作物の成長をサポート

グリーンセンターでは、営農から家庭菜園まで、幅広く活用できる生産資材を取り扱っています。強い日差しは、乾燥や地温の上昇などを起こし、作物に大きなダメージを与えます。今回は、暑さ対策におすすめの2点を紹介するので、ぜひ活用してみてください。

マグマンポ

マグネシウムを含む液状肥料で、乾燥ストレスから葉緑体を守って光合成低下を抑えるほか、土壌から養分を吸収する機能をサポートし、作物の糖度や品質の向上に役立ちます。葉面散布により、養分を素早く吸収させられることがポイントです。



価格(1kg) 1,604円(税込)

※価格は令和8年6月現在

芽出たいシート

風通しの良い網目状の被覆資材で、ニンジン、ダイコンなどを播種してからべた掛けすると、乾燥や地温の上昇を抑制でき、発芽不良の対策に役立ちます。作物が網目に絡むと剥がしにくくなるため、発芽後2~3日で剥がしてください。



価格(1×10m) 2,357円(税込)

私の暑さ対策

冷凍ペットボトルで飲料を冷たく!



JAあつぎ グリーンセンター店長 佐藤 佑

食事は元気の源 食材の力で夏バテ改善

皆さんは、暑さで食欲がない、疲れが取れないといった経験はありませんか。これは、いわゆる「夏バテ」の状態。今回は、症状の改善に役立つ食材の一つとして、ゴーヤーを紹介し、

ゴーヤー特有の苦み成分であるモルチニン、胃液の分泌を促して食欲を増進させるだけでなく、肝機能をサポートして疲労回復を助けるといわれています。同じく疲労回復に役立つとされるビタミンB1を含む豚肉や蜂蜜との相性が良いので、一緒に調理することで元気な体づくりにうれしい一品が完成します。

「ゴーヤーのカラフル炒め」は、ビタミンCを豊富に含むゴーヤーとトマトを使っているので、日焼けでダメージを受けた肌のケアにもおすすめです。料理の彩りの良さも食欲を増進させるポイントの一つ。色鮮やかな夏野菜を積極的に取り入れて、おいしく楽しく、健康な日々を過ごしましょう。

私の暑さ対策

1に睡眠、2に食事!



JAあつぎ 食とくらしのマイスター 高澤 友紀子さん

材料(2人分)

- ゴーヤー 1/2本
トマト 1個
ニンニク 1片
卵 1個
サラダ油 小さじ1・大さじ1
しょうゆ 小さじ1
塩 小さじ1
砂糖 少々
コショウ 少々

ゴーヤーのカラフル炒め



作り方

- 1 ゴーヤーは縦半分にして種とワタを取り、縦切りにしてから一口大に切る。塩(分量外)をもみ込んで洗い、水気を切っておく。
2 トマトはヘタを取って大きめの角切りにし、ニンニクはみじん切りにする。卵は溶きほぐす。
3 フライパンにサラダ油(小さじ1)を入れて中火で熱し、卵を入れる。卵が膨らんできたら粗くほぐし、火が通ったら器に取り出す。
4 フライパンにサラダ油(大さじ1)とニンニクを入れて弱火で熱し、香りが立ったらゴーヤーを入れて中火で炒める。ゴーヤーに火が通ったらトマトを加えて軽く炒める。
5 ③の卵を加えてAを入れ、軽く混ぜたら完成。

農 住 食 備

炎天下で長時間の作業を行うこともある農業。私たちの食卓を彩る農畜産物は、暑い中で活動する生産者の努力によって育っています。近年の暑さが農業や作物に与える影響を知り、地場農畜産物を積極的に食べることで、地域農業を支えましょう。

日中の日差しが熱をこもらせ、夜になっても高温が続く季節は、屋内でも熱中症になることがあります。体調の変化に気を配るだけでなく、快適な住環境を整えるポイントを押さえ、暑さ対策をしましょう。

厳しい暑さで体が疲れると、食欲不振や夏バテを引き起こします。食欲がない時はさっぱりと食べられるレシピを活用し、日頃から栄養をしっかりと取ることで予防していきましょう。

温暖化が進み年々暑さが増している昨今。熱中症による救急搬送や入院も増加傾向にあり、万が一のための備えも重要です。ぜひこの機会に、ご自身の安心に向けた備え、そして私たちの未来に向けた備えについても考えてみてください。

私の暑さ対策

日傘で直射日光を遮る!



厚農商事株式会社 木村 祥大

窓際の対策で室内環境を快適に

エアコンの冷気や熱を帯びた外気の多くは、窓などの開口部から流入しています。外からの熱を跳ね返す「遮熱」、室内の空気を逃がさない「気密」、熱を伝わりにくくする「断熱」の3点に着目し、窓際の対策を考えてみましょう。

私の暑さ対策

首元を冷やしてクールダウン!

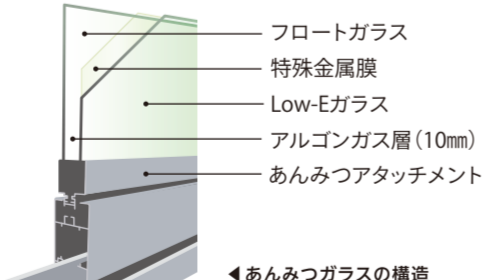


JAあつぎ 経済部 購買課 馬場 ひろみ

JAでは、断熱性能に優れた窓ガラス「あんみつガラス」を取り扱っています。2枚のガラスの間に高断熱のアルゴンガスを注入しており、冷気や熱気を伝わりにくくします。既存のサッシ枠を生かしてガラスのみを交換することもできるので、ぜひ各支所経済課や経済部購買課までお気軽にご相談ください。



農業まつりなどで展示即売会を実施



あんみつガラスの構造

熱中症を自分事と捉え万が一に安心の備えを

近年では、熱中症による救急搬送が増加しており、症状によっては入院となることも少なくありません。しかし、共済や保険の契約内容によっては、急な入院に対する保障が不十分である可能性があります。

JAの「医療共済メディフル」では、日帰り入院や短期入院、入院前後に発生するさまざまな費用などに対し、まとまった一時金が受け取れます。

暑さが厳しさを増す昨今、熱中症は誰にでも起こり得ることと考え、万が一の時に安心できる備えをしていきましょう。

ご自身の保障の見直しや商品内容の詳細などは、お近くの店舗の共済窓口や総合相談担当者にお気軽にご相談ください。

私の暑さ対策

塩分・水分を小まめに補給!



JAあつぎ 共済部 共済課 府川 真美

短期入院も、入院前後に発生するさまざまな費用にもまとまった一時金がカバーする医療保障



26143550094

温暖化対策に取り組み 私たちの未来を守ろう

日本の平均気温は長期的に上昇傾向であり、さらなる気候変動が起こり得る可能性を考えると、その要因の一つである温暖化への対策に私たち一人一人が問題意識を持って取り組み、未来に向けて備える必要があります。

「国際連合広報センター」では、気候変動の抑制に向けた「個人でできる10の行動」を提唱しています。私たちの身近で取り組める行動から始めてみましょう。

廃棄食品を減らす

食品を廃棄すると、生産、加工、梱包、輸送のために使った資源やエネルギーも無駄になります。また、埋め立て地で食品が腐敗すると、強力な温室効果ガスであるメタンガスが発生します。購入した食品は使い切るよう心掛けましょう。

リデュース、リユース、リペア、リサイクル

私たちが購入する電子機器や衣類などは、原材料の抽出から製品の製造、市場への輸送まで、生産の各時点で炭素を排出します。買う物を減らすほか、中古品の活用を検討し、修理できるものは修理し、リサイクルして地球の気候を守りましょう。

家庭のエネルギー源を替える

電気や電化製品のエネルギー源が、石油、石炭、ガスなどのどれなのかを確かめてみましょう。風力や太陽光などの再生可能エネルギー源を取り入れられる場合は、切り替えを検討してみてください。

持続可能な地球のために



遮熱対策

遮熱カーテンの活用

太陽光の熱を反射・吸収し、室温上昇を抑えます。部屋の明るさも重視する場合は、レースタイプも効果的です。

すだれやサンシェードの設置

直射日光を和らげて室温の上昇を抑えます。ゴーヤーや朝顔などのつる植物で「グリーンカーテン」を作るのも有効で、蒸散作用によって周囲の温度を下げる効果が期待できます。

気密対策

ドアや窓の隙間を減らす

隙間テープやパッキンを活用することで、エアコンの冷気が逃げにくくなります。

厚農商事株式会社

組合員・利用者の皆さまが、安心して資産を次世代に承継できるような良きアドバイザー、また地域密着型の不動産業者として業務に取り組んでいます。

【主な業務】

土地利用相談、テナント賃貸仲介、土地建物売買仲介、アパート・駐車場賃貸仲介、マイホーム・アパート建築斡旋、リフォーム斡旋

※世界情勢により、注文・施工にお時間をいただく可能性があります

断熱性能を高めるリフォームの相談も承っています!



※この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください

あつぎの農業を応援！
キャンペーン



教えて！畜産の気になるあれこれ

あつぎの畜産を

学んで味わおう！

好き！を共有して
畜産物をPR！
新鮮な農畜産物を買いに
直売所にも足を運んで
みてください！



うすいファーム
あつぎ豚しゃぶしゃぶセット

合計30名様

キャンペーン開催中！ぜひご応募ください！

応募期間

4月24日(金)～7月15日(水)

応募内容

豚肉、乳製品、蜂蜜を使った好きな料理や、畜産に関するクイズ・アンケートなどに答えて応募！畜産農家への応援メッセージも募集しています♪



←キャンペーンの詳しい内容や応募方法は、JAあつぎホームページをチェック！

応募方法と当選者数



応募フォームで応募
5名様

JAあつぎのホームページ内にある応募フォームから、簡単なアンケートに答えて応募！



ハガキで応募
5名様

「JAあつぎコミュニティNo.50」または「グリーンアートあつぎ6月号」、「グリーンページ6月号」の応募券を貼って応募！



スタンプラリーで応募
10名様

直売所でスタンプを押し、「畜産農家への応援メッセージ」を記入して店頭に応募箱に投函または郵送して応募！

Instagramで応募

10名様



「#あつぎの農業を応援2026春」を付けて、豚肉、乳製品、蜂蜜に関連した写真を投稿して応募！さらに、キャンペーン期間中、JAあつぎ公式Instagramで畜産の気になるあれこれに関連したクイズ、アンケートなどを投稿予定。投稿内の出題に答えることでもご応募いただけます。ぜひ、公式Instagramをフォローしていただき、キャンペーンをお楽しみください。

応募券

ハガキで応募の際は、こちらの応募券を貼り付けてください

〒243-0004 厚木市水引2-9-2
JAあつぎ総合企画部
あつぎの農業を応援！キャンペーン係宛

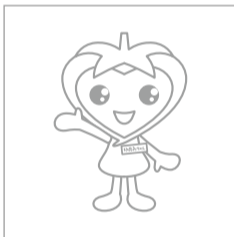
JAあつぎ直売所スタンプラリー

夢末市・グリーンセンター・Tomoni内「夢末市出張販売所」・管内巡回の移動販売車「ゆめみちゃん号」のうち1カ所を巡り、備え付けの「ゆめみちゃんスタンプ」と、農家さんへの応援メッセージを記入してご応募ください！

【郵送の際の応募先】

〒243-0004 厚木市水引2-9-2 JAあつぎ総合企画部
あつぎの農業を応援！キャンペーン係宛

※郵送料についてはお客さまのご負担となりますのであらかじめご了承ください
※当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます



スタンプ欄

畜産農家への
応援メッセージ

【応募方法】

スタンプを押した当台紙を切り取り、任意の封筒にて郵送していただくか、夢末市・グリーンセンター・Tomoni内「夢末市出張販売所」に設置されている応募箱に投函してください。

【注意事項】

備え付けのスタンプは、必ず1カ所のスタンプを押し、農家さんへの応援メッセージを記入してご応募ください。

【個人情報について】

個人情報は、抽選、賞品発送に利用させていただきます。

応募用紙

氏名		年齢	
郵便番号 住所	〒 -		
電話番号			

もしもの備えに地場産の恵みを 厚木産米はるみ使用 災害備蓄用おかゆ



特別割引券

300円(税込) → 240円(税込)



有効期間：令和8年6月15日(月)～7月31日(金)
※夢末市・グリーンセンターでご利用いただけます(夢末市出張販売所は対象外)
※1会計につき本券1枚限り有効、複数個購入可(コピー不可)
※他の割引サービスとの併用はできません

JAあつぎの直売所ガイド



夢末市 臨時休業：7月13日(月)～15日(水)
↑厚木市温水255 ☎046-290-0141
◎9時30分～17時
◎毎月第3水曜日(3月・9月は第2水曜日、1月・8月・12月は除く)・1月1日～4日



グリーンセンター
↑厚木市三田1827-1 ☎046-241-6150
◎9時30分～17時
◎毎月第2水曜日(8月は第1水曜日、1月・5月は除く)・12月31日～1月4日



Tomoni内「夢末市出張販売所」
↑厚木市泉町3-13(厚木駅前農協会館1階)
◎10時30分～14時
◎土曜日・日曜日・祝日・夢末市休業日
↑住所 ☎電話番号 ◎営業時間 ◎休業日

🎁 お便り&プレゼントクイズコーナー

クイズ

穂坂さんが暑さ対策で活用しているのは何服でしょう？

答え：●●服 ※ヒントは紙面内にあります

締め切り

令和8年7月31日(金)

毎日のとろぶる習慣

「ためして寒天」(3種セット)

抽選で5名様にプレゼント！

当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。



応募方法

ハガキまたは FAX、ホームページにて①～⑦の項目を記載し、ご応募ください。

- ハガキ/右記の通り
- FAX / 046-223-8814
- ホームページ /

<https://www.ja-atsugi.or.jp/form/greenpage/>

※ご記入いただいた個人情報は、抽選、賞品発送に利用するほか、個人を特定できない統計情報として、マーケティング等に利用させていただきます

二次元コードを読み取るとホームページの応募フォームが表示されます。



切手 243-0004

厚木市水引2-9-2

JAあつぎ総合企画部

グリーンページ係宛

- ①クイズの回答
- ②郵便番号・住所
- ③氏名
- ④年齢
- ⑤電話番号
- ⑥このグリーンページに関する感想や取り上げてほしい内容など
- ⑦JAに対するご意見・ご要望など

※①～⑦すべてをご記入ください

編集
後記

今回は、年々厳しさを増す「暑さ」をテーマに、農業・食生活・住環境・備えの4点に着目して対策を紹介しました。農業においては、炎天下で作業を行うだけでなく、高温による農畜産物への影響に対し、生産者が日々の努力と試行錯誤を重ねてくださることにより、私たちの食卓に新鮮な地場農畜産物が並んでいます。ぜひ地場産を積極的に取り入れて生産者や地域農業を応援するとともに、栄養たっぷりの食事で夏を元気にお過ごしください。(松田)